

製品名: KCNQ1 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM81066

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNQ1
別名	LQT; RWS; WRS; LQT1; SQT2; ATFB1; ATFB3; JLNS1; KCNA8; KCNA9; Kv1.9; Kv7.1; KVLQT1; FLJ26167
遺伝子 ID	3784.0
SwissProt ID	P51787
免疫原	大腸菌で発現したヒト KCNQ1 の精製された組み換え断片。

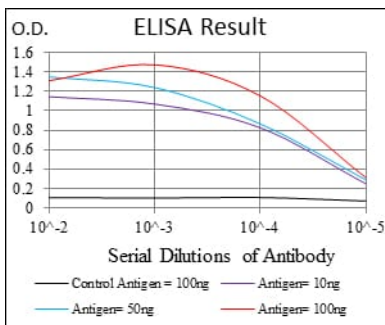
背景

この遺伝子は、心臓活動電位の再分極期に必要な電位依存性カリウムチャンネルをコードしています。このタンパク質は、他の 2 つの

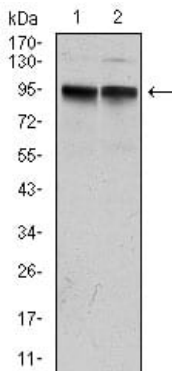
カリウムチャンネルタンパク質、KCNE1 および KCNE3 とヘテロ多量体を形成できます。この遺伝子の変異は、遺伝性 QT 延長症候群 1 (ロマーノ・ワード症候群としても知られています)、ジャーベルおよびランゲ・ニールセン症候群、および家族性心房細動に関連しています。この遺伝子は組織特異的なインプリンティングを示し、一部の組織では母親由来の対立遺伝子から優先的に発現し、他の組織では両対立遺伝子発現します。この遺伝子は、ベックウィズ・ヴィーデマン症候群 (BWS) に関連する他のインプリンティング遺伝子とともに 11 番染色体の領域に位置しており、BWS 患者の染色体再編成によって破壊されることが示されています。この遺伝子には、選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。

研究分野

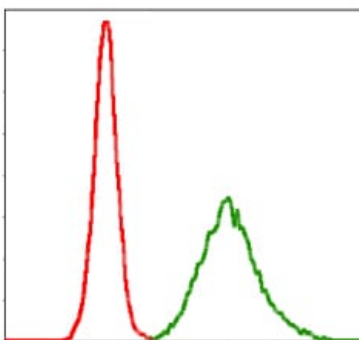
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



MCF-7 (1) および A431 (2) 細胞溶解物に対する KCNQ1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



KCNQ1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。